



11 住み続けられる
まちづくりを



住み続けられる まちづくりは なぜ大切か

目標の内容は何ですか。

都市を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にすることです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

世界人口の半数にあたる 35 億人は現在、都市で暮らしていますが、この数は増加を続ける見込みです。大半の人々の未来は都市部にあるため、貧困、気候変動、医療、教育など、人類が直面するいくつかの最大の課題への解決策は、都市で見つけねばなりません。

現在、都市が直面する喫緊の課題には、どのようなものがありますか。

不平等は大きな懸念となっています。スラムの住民は 8 億 3,300 万人を数えますが、その数は増え続けています。都市のエネルギー消費と汚染も懸念すべき問題です。地球上の陸地面積のわずか 3% に相当する都市が、エネルギー消費量の 60~80%、炭素排出量の 75% を占めているからです。人口密度と立地条件により、気候変動や自然災害の影響を受けやすい都市も多いため、人的、

2030 年までに、50 億人が
都市で暮らす
ことになる
と予測されています。

社会的、経済的な損失を回避するためには、都市のレジリエンス構築が欠かせません。

私は都市に住んでいますが、こうした問題の影響はまったく受けていません。なぜ関心を寄せるべきなのでしょう。

これらの問題はいずれも、やがてはあらゆる市民に影響することになります。不平等は社会不安や治安の悪化をもたらし、汚染はあらゆる人の健康を損ない、労働者の生産性を通じて経済に影響を与え、自然災害はあらゆる人のライフスタイルを破壊しかねないからです。

都市の自然成長を放置したら、どうなりますか。

ずさんな都市化計画の代償は世界のあらゆるところで、巨大化するスラム、交通の混乱、温室効果ガスの排出、郊外の無秩序な拡大という形で姿を現しています。スラムはGDPと平均寿命を低下させます。私たちは持続可能な行動を選択することにより、すべての市民が人間らしい生活を送り、都市の生産力の一要素として、環境を損なうことなく、豊かさや社会的安定を共有できるような都市の構築を選択することになるのです。

持続可能な実践の導入には、多額の費用がかかるのですか。

得られる恩恵に比べれば、費用はごくわずかです。例えば、機能

的な公共交通網の整備にはコストがかかりますが、経済活動や生活の質、環境、そしてネットワーク化された都市の全体的な成果という点で、計り知れない恩恵が得られます。

この目標を達成するため、私には何ができるのですか。

- あなたの街のガバナンスと管理に積極的な関心を持ってください。
- あなたのコミュニティで何がうまく行き、何がうまく行かないのかを把握してください。
- あなたが必要と考える都市の姿を積極的に発信してください。
- あなたが住む建物、通り、地域に関するビジョンを持ち、そのビジョンに基づき行動してください。十分な雇用はありますか。身近なところに医療はありますか。あなたの子どもは安全に通学できていますか。夜間、家族と一緒に街を歩くことはできますか。最寄りの公共交通機関まで、どれだけの距離がありますか。大気環境はどうですか。共有のパブリック・スペースはどうですか。あなたのコミュニティでよりよい条件を整備できれば、生活の質にもそれだけ大きな影響を及ぼすことができます。

目標 11をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

改訂版・日本語訳：国連広報センター
(2019年3月)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD